

九州観光推進機構 活動レポート

— 2011年12月号 —

感動がある。物語がある。九州



◆ 11月のトピックス

○ タイ「トラベラーズコンパニオン」誌を招請（11月1日～7日：福岡、大分、鹿児島）

タイで最も歴史ある旅行月刊誌「トラベラーズコンパニオン」誌の取材班を招請し、鹿児島県の「第60回おはら祭り」、大分県の「竹宵」、臼杵市、杵築市など、情緒感あふれる九州の風景の取材が行われました。記事は2012年1月と2月の計2回掲載される予定であり、同年2月下旬にバンコクで開催される旅行博「Thai International Travel Fair 2012」出展に向けて雑誌を活用した情報発信を行い、九州への誘客拡大を図ります。



○ 中国「九州インバウンドビジネスフォーラム2011」を開催（11月4日～9日：九州各地）

訪日旅行に実績のある中国各都市（上海・北京・広州・深セン・青島・大連等）の有力旅行会社及びメディア計50社を招請し、九州各地の視察旅行及び観光説明会・商談会を内容とする「九州インバウンドビジネスフォーラム2011」を実施しました。視察は中国側の参加者が地域ごとに5コースに分かれて、温泉・お祭・列車などのテーマで九州各地の観光地を訪れ、悪天候にもかかわらず精力的に各地を回りました。今回の視察を契機に、旅行商品の造成が増えることが期待されます。



また、8日に福岡市内で開催した観光説明会・商談会では、新たに就航する春秋航空の佐賀・上海路線やハウステンボスが運営する長崎・上海航路などでアクセスがより便利になった九州をPRしたほか、中国の旅行会社と九州の参加者約130名が活発な商談、情報交換を行いました。このほか、会場では九州の物産をPRするブースを併設し、観光及び物産面から中国側に向けて強く九州を訴求することができました。

○ 2011年度「第2回理事会」を開催（11月10日：福岡市）

機構の2011年度「第2回理事会」を開催し、事務局から以下の議案等についての説明を行いました。議案は審議の結果、原案どおり承認されました。

<議案：審議事項>

- ・ 役員を選任（案）、評議員を選任（案）、顧問委嘱の承認（案）、観光アドバイザーの委嘱（案）について
- ・ 2011年度補正予算（案）について

<報告事項>

- ・ 2011年度事業実施状況、「総合特区」申請、「なないろ九州バス」運行状況（上期）について

審議では、2012年度VJ事業予算確保での九州各県と連携した国への働きかけ、大公網を使った九州観光情報の発信、観光戦略としてのMICEへの取り組み、今年11月から運航開始した長崎・上海航路のPR等について貴重なご意見をいただき、今後の機構の取り組みに生かしていくことにしています。



○ 韓国「KBS2TV映像アルバム山」が九州を取材（11月11日～14日：福岡、熊本、大分）

韓国で日曜日の朝、国内外の山を紹介する番組として人気がある「KBS2TV映像アルバム山」が日本のトレッキングの情報を発信するため、日本100名山の一つである祖母山の取材を行いました。取材期間は好天に恵まれ、祖母山のほか、原尻の滝、高千穂峡、阿蘇外輪山、菊池溪谷で撮影が行われ、登山以外での九州観光の魅力を十分にPRすることができました。登山人口が約1000万人と言われている韓国では、年々登山やトレッキングを目的にした旅行が増えてきており、今後も山と観光地を連動させた九州の魅力のPRを行っていきます。



○ 台湾「第19回台北国際旅行博(ITF2011)」に出展（11月11日～14日：台北市）

台湾最大の旅行博覧会である「第19回台北国際旅行博（ITF2011）」に出展し、旅行会社及び一般市民向けに九州の観光PRを行いました。今回は出展場所が従来の1号館に加え、ホテル・施設の出展のため3号館まで拡大し、61か国・地域850団体の参加、過去最多の251,231人の来場者となりました。

九州ブースでは、楽しい列車の旅をテーマに、イメージ喚起のためのモデルコース4本（福岡イン・アウト2、宮崎イン・アウト1、宮崎イン・福岡アウト1）を掲載するフリーペーパー5千部を準備・配付するとともに、これに関連するブース装飾、別会場でのプレゼンテーション等を行いました。ブース内でのスロットゲーム実施では、連日順番待ちの行列が見られ、それ以外の時間帯でも九州の情報を求めてブースを来訪する方が多数あるなど大盛況となり、機構や各県等が準備した観光パンフレット類は連日品切れになりました。



○ 「キレイになる九州旅体験女子会」を開催（11月14日：東京）

首都圏在住で、旅行好き、九州旅行への興味を持っている20代～30代の女性層をターゲットに「行きたくなる九州」を印象付け、実際に九州旅行を喚起することを目的に「キレイになる九州旅体験女子会」を開催し、189人の参加がありました。

お台場の会場では、九州各県の選りすぐりの食材を現地から取り寄せて使ったディナーのほか、九州7県体験ブース内での各県自慢のご当地アイテム&スイーツを味わってもらいました。後半のトークショーでは、はしのえみさん（鹿児島県出身）、当機構温泉ブログを担当している花田伸二氏をゲストとして、九州のバラエティ豊かで個性を楽しむ旅のポイントを地元出身者の視点から紹介し、九州の魅力の一端を体験してもらいました。今回のイベントは、九州に赴くきっかけづくりとなり、メディアを活用した情報発信を行いました。



○ シンガポール「クルーズ・ SHIPPING・アジア2011」に出展（11月16日～18日：シンガポール）

シンガポールで開催されたクルーズ専門の展示会「クルーズ・SHIPPING・アジア2011」に九州ブースを出展し、各国のクルーズ船社等に対し九州各地の港や観光地の魅力をPRしました。今回の出展では、観光庁、日本の各出展者と連携してクルーズ業界のキーパーソンを招いてイベントを実施し、オールジャパンでのクルーズ船誘致にも注力しました。

九州への外国人観光客誘致においては、クルーズ船は中国市場を中心に大きなウエイトを占める重要な旅行手段であるため、今後も、積極的に誘致に取り組んでいる九州各地の港及び観光関係者と連携しながらPR等を行っていきます。



○ 韓国・インターネット系旅行会社を招請（11月16日～11月20日：九州各地）

ソウルを中心としたインターネット系旅行会社のオペレーターを招請し、個人旅行向けの九州観光を体験してもらいました。参加者は各自で作成した九州各県を巡る観光スケジュールに沿って、公共交通機関を利用して移動し、事前に調査したご当地グルメや観光地・温泉を楽しむ個人旅行を体験しました。この実体験は、今後の販売促進に役立ててもらえる機会となり、年々増加している個人旅行の誘致につながるものとみています。

○ 2011年度「九州各県観光ボランティアガイド連絡協議会代表者会議」を開催（11月18日：福岡市）

九州各県の観光ボランティアガイド団体間の情報交換・交流拡大、広域連携を目的として、機構主催による「九州各県観光ボランティアガイド連絡協議会代表者会議」を開催しました。

今回の会議は、各県内のガイド団体の連携強化等で重要な役割を担う九州7県の観光ボランティアガイド連絡協議会の代表者及び九州各県の観光ボランティアガイド関係担当者が集まり、機構から2012年2月、大分県で開催する「第5回九州観光ボランティアガイド大会 in おおいた」、地域活性化総合特別区域「九州観光“おもてなしの輪”創造特区」の指定申請についての説明、同連絡協議会の活動等についての意見交換を行いました。



同連絡協議会の代表者からは、外国人に九州観光案内を行うガイド不足に対応した特区ガイドの各県への紹介、活用等のアドバイスの要望や、外国語ができるガイドの募集は報酬面等から容易ではないため特区ガイドに期待する意見が寄せられました。今後も代表者会議を年1回開催し、九州7県の観光ボランティアガイド活動の情報共有とともに、九州が一体となってガイドのあり方を考えていくことにしています。

○ 「九州観光“おもてなしの輪”創造特区」ヒアリングに対応（11月21日：東京）

当機構と九州7県が共同で申請した地域活性化総合特別区域「九州観光“おもてなしの輪”創造特区」について、内閣官房地域活性化統合事務局によるヒアリングが実施され、大分県とともに臨みました。ヒアリングでは、「外国人留学生の資格外活動の規制緩和が無い場合の事業実施」の質疑で「規制緩和が不可能でも留学生を活用」と答えるなど、活発なやり取りが行われました。

今回の特区申請については、九州で11箇所が申請しましたが、既に7箇所が篩いにかけており、今年12月末には特区指定が決まる予定です。



○ 香港・旅行会社等を招請（11月21日～11月25日：九州各地）

香港から九州への定期便を有するキャセイパシフィック航空及びドラゴン航空の指定旅行会社8社及び香港の一般紙等メディア3社を、団体旅行向けコース及びFIT向けコースの2コースに分けて招請しました。今回の招請では、東京・大阪・京都を訪問済みの訪日旅行リピーターを増やすため、他地域との差別化を図りました。

団体旅行向けは、別府、阿蘇、指宿等に加え九州新幹線と果物狩り、FIT向けにはハウステンボス、武雄温泉、熊本城等に加え、「あそぼーい！」と農家民泊を体験していただき、参加者には好評でした。



○「VISIT JAPAN トラベルマート2011」に出展（11月22日～23日：横浜市）

観光庁および日本政府観光局が主催する、大型インバウンド商談会「VISIT JAPAN トラベルマート2011」に出展し、アメリカ、カナダ、フランス、ロシア、デンマークをはじめ、アジア各国の旅行会社、メディア向けに九州観光のPRを行いました。当日の商談会には、海外の旅行会社270社、メディア30社、日本側旅行会社370社が参加し、大盛況でした。

また、当イベント併催の日本国内各地へのファミトリップでは、九州コースに多数の応募があり、認知度とともに注目度も向上していることが感じられました。



○「平成24年度上期観光素材説明会・相談会」を開催（11月24日：広島、29日：福岡）

「平成24年度上期九州観光素材説明会・相談会」を広島、福岡で開催しました。広島では、JATA中四国事務局の後援により「温泉&食」をテーマに、映画の九州ロケ地、ドラゴンボールなど新しい情報を取り入れながら九州7県による説明を行いました。旅行会社13社・マスコミ3社の計74名の参加があり、説明会後の相談会では、旅行会社が各県のブースを回り熱心なやり取りが交わされました。広島地区からの九州への誘客は前年比150%増となっており、今後もより多くの観光客誘致が期待できます。



広島

また、福岡では、会場を百道浜から天神に変えて開催し、繁忙期にもかかわらず旅行会社11社32名、その他計65名の参加がありました。相談会では、予定の時間をオーバーするやり取りとなり、地元の旅行会社等との連携強化を図ることができました。地元を大事にすることはおもてなしの心に繋がり、九州への誘客に結びつくことが期待されます。



福岡

○平成23年度第2回「九州各県海外誘致担当者会議」を開催（11月28日～29日：佐世保市）

今年度第2回目の「九州各県海外誘致担当者会議」を長崎県のハウステンボスで開催し、機構、九州運輸局及び各県の今年度事業実施状況、来年度計画について意見交換等を行いました。

今年度は外国人入国者数が東日本大震災等の影響により前年割れの状況が続いており、風評被害の払拭や九州旅行商品造成のため、九州各県の関係者が連携した各種の取り組みを報告するとともに、今後実施すべき取り組みについての提案や情報提供をしました。

今回の会議の意見等を踏まえて、今後も九州各県などの関係者と連携した海外プロモーション、海外からの観光客受け入れ体制の整備支援に取り組んでいきます。



○中部国際空港利用促進協議会「国内教育旅行説明会」に参加（11月30日：名古屋市）

中部国際空港利用促進協議会主催により「国内教育旅行説明会」が開催され、北海道・宮城・沖縄地区及び航空会社2社（ANA、JAL）とともに参加し、現地では愛知県及び近隣県の高等学校18校19名、旅行会社3社5名が出席しました。

九州のプレゼンテーションでは、九州の教育旅行素材と中部国際空港（セントレア）を発着地とするモデルコースの説明を行い、その後のワークショップでは、参加者からの問い合わせへの対応及び意見交換を行いました。九州外で修学旅行を実施している高校へのPRは概ね好評であり、今後の九州への教育旅行の増加につながるものと期待されます。



○ オズマガジン12月増刊号に「九州女子旅」を掲載（11月）

スターツ出版の取材に協力し、11月2日発行の首都圏女性情報誌「オズマガジン」冬の旅12月増刊号（9万部）に、九州の温泉・スイーツ・パワースポットの3つのテーマで巡る「九州女子旅」が8ページの特集で紹介されました。この雑誌による紹介は、首都圏女性の九州旅への関心をより高めるものと期待されます。

- ①一度は行きたい憧れの温泉地へ【熊本（黒川）、大分（湯布院、別府）】
- ②スイーツ天国・シュガーロードに行く【長崎、佐賀、福岡（小倉）】
- ③神話の世界に浸る心すっきりパワーチャージの旅【宮崎、鹿児島】



○ 「九州イベント集 冬号」を発行（11月）

12月～2月の期間に九州各地で開催される様々な祭りやイベント情報をタイムリーに使い勝手の良い形でまとめた「九州イベント集 冬号」を制作しました。このパンフレットは、当機構のイベントでの配布のほか、大阪梅田駅の機構ブース等に設置し、九州旅行の選択、九州でのもう一か所観光、もう一泊を促していきます。



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 「おもてなしフォーラム2012 in 九州」の開催について

当機構の主催により「おもてなしフォーラム2012 in 九州」を開催します。このフォーラムは、経営・管理・現場に携わる様々な方々を対象に「基調講演」「分科会」を行い、幅広いテーマである「おもてなし」の重要性について理解を深めていただくものです。ご参加をお待ちしております。

1. 開催日時 平成24年1月26日（木）13:00～15:30（受付 12:00～）
2. 会場 アクロス福岡（福岡市中央区天神1丁目1-1）
3. 参加費用 機構会員企業・団体の参加は無料、その他の一般参加は1,000円
4. テーマ、講師
 - (1) 基調講演 13:10～14:10
「JR九州のサービス改善の取り組み」
九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長 石原 進 氏
 - (2) 分科会 14:30～15:30 *いずれかの分科会への参加となります。
 - ①「真・報連相で“おもてなし”が変わる！～情報によるマネジメント～」
日本報連相センター本部付講師・関西支部長 中富 正好 氏
 - ②「自己発見とおもてなしコミュニケーション“コーチング・スキル入門”」
日本コーチ協会福岡支部元支部長 鮫島 宗哉 氏
 - ③「おもてなしは対話で深める～現場の言いたいこと、現場に言いたいこと～」
特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会監事 田坂 逸朗 氏
 - ④「接客、おもてなしの心を学ぶ～ホスピタリティ5原則とは～」
JT B ビジネスサポート九州 専任講師 安富 まり子 氏
5. 募集方法 専用WEBページ（九州観光推進機構HPトップページの「おもてなしフォーラム」バナーをクリック）または専用申込書のFAX（092-726-2384）によるお申込み
*定員になり次第締め切りとなりますので、お早目にお申込みください。
6. お問い合わせ先 九州観光推進機構 企画部 藤本、杉島 TEL 092-751-2943

○ 12月以降の主な予定

- ・「まちあるき観光セミナー」開催（12月1日～2日：鹿児島県薩摩郡さつま町）
- ・中国・有力メディア（ファッション誌）幹部等招請（12月3日～6日：鹿児島、熊本、福岡）
- ・タイ・旅行会社招請（12月5日～11日：福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島）
- ・中国・天津市教育関係者等招請（12月8日～12日：九州各地）
- ・「西日本広域観光ルート開発 旅行会社ファミトリップ」実施（12月12日～17日：九州各地）
- ・「九州観光セミナー」参加（12月14日：新潟市）
- ・「九州各県国内誘致担当者会議」開催（12月15日：福岡市）
- ・「東北・九州・沖縄合同観光展」開催（12月17日～18日：大阪市）
- ・タイ・テレビ局招請（12月17日～23日：福岡、長崎、熊本、大分）
- ・「九州教育旅行現地視察会」実施（12月23日～25日：長崎、佐賀、大分、福岡）
- ・「おもてなしフォーラム2012 in 九州」開催（1月26日：福岡市）
- ・韓国・地方都市旅行会社マスコミ関係者等招請（1月：九州各地）
- ・台湾・テレビ局（民視）招請（1月：福岡、熊本、宮崎、鹿児島）
- ・香港・テレビ番組「ジャパナビ」招請（1月：福岡、熊本、鹿児島）
- ・「第5回九州観光ボランティアガイド大会 in おおいた」開催（2月9日～10日：大分）
- ・タイ「Thai International Travel Fair 2012」出展（2月23日～26日：バンコク）
- ・シンガポール「NATAS」出展（2月24日～26日：シンガポール）
- ・中国「2012日本商品直送 in 中国」出展（3月2日～4日：上海市）
- ・2011年度「第3回評議員会」開催（3月8日：福岡市）
- ・2011年度「第3回理事会」開催（3月22日：福岡市）
- ・韓国・九州オルレコース発表会・視察に係る招請（3月：九州各地）

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 松尾

TEL : 092-751-2943 E-mail : info@welcomekyushu.jp